

学校教育目標	よく学ぶ子 心豊かな子 たくましい子
目指す学校像	みんなの笑顔が輝く学校「ス（進んで学ぶ等）マ（まっすぐな心等）イ（一生懸命等）ル（ルールを守る等）みなみ」
重点目標	1 協働的な学びを通じた確かな学力の向上<学ぶ意欲向上> 2 主体的に考動できる豊かな心の育成<自己肯定感向上> 3 地域に愛される「南小」の歴史をつなぐコミュニティ・スクールの実施<信頼向上> 4 安心安全な学校であり続けるための教育環境の整備 5 教職員一人ひとりのよさを発揮できる職場づくりと働き方改革の推進<組織力向上>

※重点目標は6つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学 校 自 己 評 価					学校運営協議会による評価		
年 度 目 標					年 度 評 価		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<現状> ○昨年度の全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、算数ともに全国、市平均と比べて良好な結果である。 ○タブレットを活用した個別最適な学びが定着してきている。 <課題> ○昨年度の全国学力・学習状況調査の結果分析から、知識・技能について、国語「情報の扱い方に関する事項」が、思考・判断・表現について、算数「数と計算」「データ活用」に課題がある。 ○高学年になるにつれて習熟度の二極化が見られる教科(算数)がある。	協働的な学びを通じた学習指導の充実	① 「学びの指標アンケート」を5月、12月に実施し、1回目の結果考察及び全国学力学習状況調査の振り返りを行う。 ② 学年会において、各教科の単元終了後に「カリマネデザインマップ」見直しを行う時間を設定し、次年度の教育課程の編成を行う。 ③ 学校DX部と学年主任が中心となり、iPadを活用した授業や活用方法等について「学校スタンダード」を確立する。 ④ ルーブリックを活用した評価を取り入れた学習活動を実施する。	① 「学びの指標アンケート」及び学校独自アンケートにおいて1回目自校平均よりも向上することができたか。 ② カリマネデザインマップを修正(教科横断的な学びの視点、時数の見直し等)し、次年度の教育課程を作成することができたか。 ③ 学校評価「学習指導」「授業が分かりやすい」の項目を9割以上とすることができたか。 ④ ルーブリックを活用した授業実践をすることができたか。			
2	<現状> ○「範を示す」を合言葉に高学年が学校のリーダーとなり生活をする事ができている。 ○「心と生活のアンケート」において信頼自己DE評価の児童が17%(R7)いる。 ○毎朝入力をしているおはようメーターの「おはよう気持ち」「おはよう体調」について「悪い」「とても悪い」を毎日選択する児童が一定数いる。 <課題> ○「その日のことはその日のうちに」を合言葉に全教職員が共通理解のもとで「報告・連絡・相談・確認・見届け」を丁寧、迅速に行う必要がある。	自ら考え、主体的に考動する力を育む教育活動の推進 積極的な生徒指導を実現するための共通理解・共通行動の実施	① 委員会活動等が、児童が企画立案し、主体的な活動となるよう、各担当教員を中心に支援・指導を行う。 ② 各学年の実態に応じて実行委員等が中心となって行事を運営する機会を増やす。 ③ 児童向けの「心と生活のアンケート面談」と「スマイル月間(本校独自の個人面談)」を学期に1回ずつ実施したり、保護者向けの教育相談日を毎月設定したりし、児童が安心して生活できるようにする。 ④ 生徒指導対応をする際は、複数で聴き取りを行う、保護者と連携する、記録をとる等の共通行動をする。	① 委員会活動等において児童が主体的に立案した集会、取組等を実施することができたか。 ② 各学年において、実行委員を中心とした活動を実施することができたか。 ③ 学校評価「生徒指導」「教育相談」「組織運営」の項目で、肯定的な評価が保護者・教職員ともに9割を超えたか。気になる児童について、「その日のうちに」情報を共有し、面談、保護者への連絡等ができたか。 ④ 生徒指導、教育相談を実施した児童について、「その日のうちに」情報を共有し、面談、保護者への連絡等ができたか。			
3	<現状> ○開校152年目、地域に愛される学校であることを児童・教職員ともに実感することができている。 ○学校運営協議会において目指す児童の姿「チャレンジする心」を家庭、地域などに広めることができた。 ○昨年度の学校評価に係るアンケート「情報発信」「地域・保護者の願いに応えている」の項目で肯定的な評価が9割に届かなかった(R7:85%)。 <課題> ○校内ではあいさつができるが、登下校中は自分からあいさつをすることができない児童が多い。 ○授業公開等を行い、特色ある教育活動についてさらに発信する必要がある。	地域・家庭と連携したいつでもどこでもあいさつできる学校づくり 「スマイルみなみ」を地域全体で共有するための積極的な教育活動の公開	① 学校運営協議会に児童が参加(2回)し、ディスカッションを行う。 ② あいさつチャレンジデー、あいさつキャンペーン等のあいさつ運動を複数回実施する。 ③ 各学年が実施する特別講師による授業(薬物乱用防止教室等)を積極的に公開する。 ④ 学校ブログを積極的に更新する。特に行事終了後は速やかにブログ更新を行う。	① 学校運営協議会に児童が参加し、本校の課題について熟議を行うことができたか。 ② 「あいさつチャレンジデー」、挨拶キャンペーン等を複数回実施できたか。 ③ 各学年が実施する特別授業やお話会等の公開可能な授業について学校日より、学年日よりで周知し、公開をすることができたか。 ④ 月に1回以上学校ホームページの更新及び、各学年毎月1回以上のブログ更新を通して、児童の様子や学校の出来事等を保護者や地域の方に迅速に情報提供することができたか。			
4	<現状> ○校舎、各教室の空調設備等については、経年劣化はしているが、毎月の安全点検等を行い、不具合があった場合は、その都度対応している。 <課題> ○学級増に伴い、校庭、体育館、特別教室使用の余剰時間がない。 ○空き教室が少なくなり、会議室等が倉庫化してしまうことがある。	安心安全な学校施設の管理 学習環境の整備	① 事務職員と予算状況確認を毎月1回以上実施し、予算の適正執行、不必要な物品等の廃棄を実現する。 ② 安全点検を確実に行うとともに、修理箇所があった場合の即日対応に努め、事故を未然に防ぐようにする。 ③ 普通教室以外の教室を中心とした校内の整理整頓を徹底する。 ④ 会計担当者会議等を学期に1回実施し、学習活動に必要な教材を計画的に購入する。	① 事務職員と予算状況確認を毎月1回以上実施し、適正な執行を実現することができたか。 ② 安全点検を毎月実施するとともに、修理箇所があった場合の即日対応、職員集会等で周知し、危機意識を向上させられたか。 ③ 日常の見回りを行い、空き教室の整理整頓を行い、安全で美しい環境が維持できたか。 ④ 学年会計担当者と事務職員が中心となって教材購入をすることができたか。			
5	<現状> ○3～6年生における教科担任制、1、2年生の交換授業により、担当教科の専門性の高い教材研究を行うことができている。 ○時間外在等時間に個人差がある。 ○教職経験年数の浅い教職員が増えている。 <課題> ○全教職員が人事評価に基づき、自身の設定した目標、指導力向上に向けた研修、キャリアに応じた研修を実施していく必要がある。 ○勤務時間終了後に保護者へ電話連絡等を行うことが恒常化している。	教職員の適切な健康管理と働き方改革の推進 キャリアに応じた教職員の育成と研修の推進	① 学年ごとに月2回以上のノー残業デーを設定するとともに、19時以降は学校に残って仕事をしないようにする。勤務時間終了以降は原則保護者に電話連絡等を行うことがないよう、保護者に周知していく。 ② 各主任がリーダーシップをとり、業務分担を図る。 ③ 校内における各種研修、年次研修に加えて、教職員それぞれの強みを生かした教科・領域等について研修を深めることができるよう、夏季休業中等、積極的に研修会に参加できるようにする。 ④ 授業力向上に向け、全教職員が年2回(1、2学期。うち1回は略案を作成)の授業公開及び授業観察(年3回)を実施する。	① 学年ごとに月2回以上のノー残業デーを設定し、教職員の時間外在等時間を月平均3.2時間以内とすることができたか。 ② 学校評価(教職員用)「働き方改革」の項目でA/B評価が9割以上の肯定的な回答が得られたか。 ③ 自身の設定した目標に向けて指導力向上に向けた研修を実施、研修会等に参加することができたか。 ④ 全教職員が授業公開及び授業観察を行うことができたか。			

学校運営協議会による評価
 実施日令和 年 月 日
 学校運営協議会からの意見・要望・評価等